

## 附属病院分校で学習して

～児童生徒・保護者手記より～

私は、食べ物がのどを通らなくなり、地元の病院で診てもらったけれど原因がわからなくて、大学病院を紹介されました。

最初は小児科に入院し、安静にしないといけないので動くこともできず、DVDを観ることだけが楽しみでした。病棟保育士さんとミサンガ作りや折り紙などをすることも楽しかったです。

夏休み前に精神科に移り、急にスケジュールが忙しくなり、学校に通えるようになりました。この学校に転校して、苦手だった教科もわかるようになってうれしかったです。

入院して4か月、つらいこともたくさんあったけれど、家族のはげましやお医者さん、看護師さんの応援があり、なんとか乗り越えることができました。たくさんの人との出会いがあってよかったです。

これからも体調に気を付けて、勉強もがんばりたいと思います。

皆さん本当にありがとうございました。

(R7年度 中学部1年・生徒)



僕は修学旅行の2日目の夜、高熱が出て、大阪の病院に運ばれました。次の日はユニバに行く予定でしたが、行くことはできませんでした。目覚めたときには1か月くらい経っていたので、状況がつかめませんでした。首には点滴、足には機械が取り付けられ、動かせるのは首だけでした。眠り薬を使って夢をたくさん見て怖かったです。

大学病院に入院してからは、友達から応援メッセージなどが届いてうれしかったです。折り鶴もきれいでした。学校は先生たちがみんな優しく、看護師さんも優しく、居心地がよかったです。スポーツができなくなるのが悲しくなりましたが、友達がラインで「好きなことをまたさがしたらいいやん」と言ってくれ、気が楽になりました。みんなに支えられて今の自分があるので、少しでも他の人のためにできることをしたいです。

絶望しても何度でも立ち上がることはできる。あきらめないように頑張ろう。

(R7年度 中学部3年・生徒)



中学2年生の京都、大阪への修学旅行。2日目の夜に養護の先生から、「熱があります。迎えに来てください。」と電話がありました。熱くらいなら、次の日にみんなと帰ってきてくれたらと、軽い気持ちでいました。明日の朝、早くに迎えに行きますと、電話を切りました。夜中に、2度目の電話が鳴ります。

「すぐにでも迎えに来てください。」

息子は救急車で、大阪の日赤病院に運ばれました。医師の方に、「できることは120パーセントやりました。後は、彼の頑張りしだいです。」と言われたときには、頭の中が真っ白になりました。

今、息子はたくさんの皆様からの助けもあり、後もう少しで退院予定です。大阪で1か月、高知医大で6か月です。

分校では、沢山の先生方のお世話になりました。勉強のほうはどうなるのだろう、机に座り、前のように教室に戻れるのだろうか、不安がありましたが、先生方のおかげで前向きに考えることができました。息子に、温かい声をかけてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。

(R7年度 中学部3年・保護者)



#### 附属病院分校の思い出

自分は、附属病院分校に二ヵ月通って、楽しかったです。先生は、教え方も上手だし、授業の合間にいろいろな話をしてくれるので今までの学校の授業よりもすごく楽しかったです。少し難しい問題があっても、分かるまでゆっくり時間をかけて教えてくれて、今まで分からない所も分かるようになりうれしかったです。

授業以外では自立活動で先生と将棋をし、課外活動でゲームを楽しみました。課外活動の三十分間はあっという間に終わってしまいました。病室のインターネットのつながりが悪く、学校が終わると少し暇でした。

退院が近づき、今は家に早く帰りたいです。

(R7年度 中学部1年・生徒)



2ヶ月程の入院でした。入院当初はベッドから動けず一日中部屋で過ごしていました。体調が安定して動けるようになり、入院が長引きそうだと言う事で院内学級に転校することになりました。この子の姉が長期入院した際同じく院内学級に転校した事があり、学校の様子や先生方の人柄も知っていたので心配は皆無でした。最初のうちは病室で1日1~2時間の授業。その後、点滴台持参で学校まで歩いて授業を受けに行くようになりました。最初は『勉強嫌やー』と言っていた娘も、先生とのマンツーマンの授業や入院している他のお友達とのレクリエーションをととても楽しんでいました。病室でずっと過ごしていた時より学校へ通っていくことで気分転換にもなり笑顔が増えました。

退院が決まり地元の学校に戻る時も勉強の遅れは無くスムーズに戻る事が出来ました。今も定期的に通院しています。その際学校に姉も一緒にあいさつしに行くことがあります。先生方に元気な姿をみてもらいたくて連れて行くのですが、いつ行っても『うわぁ元気になったねえ』『大きくなったねえ』と声をかけてくれます。温かくて優しい先生方ばかりです。

子どもが病気で長期入院する、というのは子どもはもちろん親にとっても大きな不安があります。院内学級はその不安を大きく軽減してくれます。入院中に学校に通える、ということはとても幸せな事です。勉強だけではなく子どもの精神面も安定します。私は完全付き添いだったので通学以前は24時間子どもと一緒にいました。それが学校に行っている時間が自由時間になりました。親の精神面も安定します。親子共々支えてくださり感謝しています。院内学級に通えて良かった。本当にありがとうございました。

(R7年度 小学部2年・保護者)



### 分校の思い出

私は、入院して勉強と運動をがんばりました。

勉強は、授業が楽しかったです。テストでは高得点を取ることができました。理科のテストは表も裏も100点を取ることができてうれしかったです。他の先生に見せると「すごい」と言ってもらってうれしかったです。これからも集中して授業を受けます。

運動は、毎日10,000歩を目指して歩くことを頑張りました。10,000歩は難しかったけれど、目指して頑張りました。リハビリでは、自転車を15分こぎました。月曜

日から金曜日の朝、登校する前にしました。きつかったけれど、頑張りました。

中学生になったら、部活を頑張りたいです。楽しみです。

(R7年度 小学部6年・児童)

